

大館市教育委員会会議録

日 時 令和3年12月17日(金)
午後1時30分
場 所 大館市役所 本庁
101.102会議室

大館市教育委員会


大館市教育委員会会議録

1	開会の日時 及び場所	日 時 場 所	令和3年12月17日(金) 大館市役所 本庁	午後1時30分 101.102会議室
2 出席委員の氏名				
	教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子
	委 員	根 田 穂美子	委 員	小笠原 正 卓
3 欠席委員の氏名				
4 委員以外の出席者職氏名 (なし)				
5 出席した職員の職氏名				
	教 育 長	高 橋 善 之	教育総務課長補佐	宮 崎 史 人
	教 育 次 長	石 田 一 雄	教育総務課長補佐	石 田 誠 樹
	教 育 監	山 本 多鶴子	学校教育課長補佐	鈴 木 明
	教育総務課長	成 田 浩 司	生涯学習課長補佐	糸 屋 みさえ
	学校教育課長	小松原 功 秀	中央公民館長	金 谷 浩
	学校教育課主幹	野 呂 謙 一	歴史文化課長補佐	加 賀 至
	教育研究所長	米 澤 貴 子	教育総務課総務係長	篠 村 朋 子
	生涯学習課長	一 関 留美子		
	歴史文化課長	小 松 工		
6 会議録署名委員 教育長・工藤委員				
7 会議書記 教育総務課 総務係長 篠村 朋子				
8 教育長報告				
(1)	南種子町児童交流事業について			
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
9 議 事				
協議第16号	令和4年度当初歳出予算要求の概要について			
10 その他				

教育長が教育委員会に報告する事項

令和3年12月17日

担当課（学校教育課）

報告事項	報告内容
南種子町児童交流事業について	<p>鹿児島県熊毛郡南種子町への児童交流事業について、令和4年1月に実施します。</p> <p>この活動は、田代地区のロケット燃焼実験場を縁として、本市と友好交流宣言を行っている鹿児島県南種子町へ、隔年で児童を派遣する事業で、応募で選ばれた市内小学5・6年生15名と教職員ら引率者4名が令和4年1月5日から8日までの日程で、屋久島や種子島を訪問し、南種子町の児童らと交流するものです。</p> <p>○主な訪問先 屋久島環境文化センター 白谷雲水峡 志戸市ガジュマル園 南種子役場訪問 宇宙科学館、宇宙センター（JAXA） 広田遺跡ミュージアム</p> <p>○事前学習会 1回目 令和3年12月11日(土)午前中 2回目 令和3年12月18日(土)午前中 会 場 中央公民館第1研修室</p> <p>○出発式 令和4年1月5日(水)午前8時30分 会 場 中央公民館情報図書コーナー</p> <p>○解散式 令和4年1月8日(金)午後6時45分(予定) 会 場 中央公民館情報図書コーナー</p> 

議 事 の 経 過	
	開会 午後 1 時 3 0 分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については私と工藤委員にお願いします。
教育長	会議録についていかがだったでしょうか。 (「異議なし」の声あり) それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項(1)をお願いします。
学校教育課長	(「(1)南種子町児童交流事業について」を、資料により報告)
教育長	ご意見、ご質問はございませんか。
委員	どのように選ばれたのでしょうか。
学校教育課長	各小学校に応募をかけまして、作文を書いてもらいました。応募者数は31名です。選考委員会にて、決定した15名です。
委員	この事業は、合併前の田代町から続いている事業ですよね。ずいぶん長く続いている事業ですね。子どもにとっては、ロケットロードと言いますが、明るい未来を目指すという意味では、とても良い事業だと思います。
学校教育課長	詳しい資料はありませんが、田代にロケット試験場ができたのは、1976年(昭和51年)ですので、その数年後には児童交流事業が行われていると聞いております。これからも続けて行きたいと思います。
委員	この事業は、コロナ禍でも一回も切れることなく続いている事業でありがたいと思います。さらに応募の幅を5・6年生に広げていただき、参加のチャンスを皆に与えていただいたこと、ありがたく思います。実は、長女が参加してしまして、そこで仲良くなった子が、高校で生徒会の役員をしています。将来の大館のリーダーが、もしかしたら、ここから出ることもあるのかなと感じているところでした。
教育長	今、コロナは落ち着いていますが、PCR検査をやったうえで十分な感染防止対策を取りながら、進めていきたいと思います。 子どもサミットの釜石訪問も再開したいと考えていますが、ニュージーランドは海外のことですので、もう一年は様子を見なければならぬと考えています。

教育長	それでは、報告はこれで終了させていただきます。次に議事に入ります。
教育次長及び各課長	(「協議第16号令和4年度当初歳出予算要求の概要について」を資料より説明)
教育長	質問等ございませんか。
委員	トイレの洋式化工事ほか4件についてですが、学校はどこになりますか。
教育総務課長	トイレの洋式化は、小学校は有浦小学校、中学校は第一中学校です。ほか4件の工事は、桂城小学校の電気室屋上防水改修工事、城南小学校の三階資料室の屋上防水改修工事、城南小学校北側屋上パラペットの改修工事、桂城小学校通教教室棟屋根葺替工事、中学校は南中学校通学路防犯灯設置工事2件、第一中学校女子テニスコート屋外倉庫の建替え工事です。第一中学校は、校舎トイレの洋式化と書いておりますが、校舎のトイレのほかに体育館のトイレもあり、こちらはこれで1件となります。
委員	ご説明ありがとうございます。
委員	通学費補助金についてです。通学距離によって違いがあるのですか。
学校教育課長	小学生12名、中学生2名が対象となっております。スクールバスがない路線で、最寄りのバス停から学校までの定期券を支給しています。
委員	電子黒板の配置状況と、将来の購入計画について伺います。
学校教育課長	理想としては、1教室1台ですが、1台100万円と高額なため、今は、ワンフロアに1台となっております。将来の購入計画ですが、国の補助金がないため今現在は、購入の予定はありません。今回、計上しているのは、故障のため修理が必要なことから予算要求したものです。
委員	電子黒板は何年で壊れましたか。
学校教育課長	今回、壊れた電子黒板は5年目に当たります。
委員	先日、北陽中学校で阿部里奈子先生の授業を拝見した時のことです。パソコンを使いこなして授業での使い方が素晴らしと思いました。実験した結果がすぐに画面に映し出されて、今までの授業形態が変わると思いました。アナログとデジタルと両方良いところがありますが、パソコンでの使い方が広まっていくといいと思いますので、予算の下支えをよろしくお願いします。

委員	<p>デジタルの話からアナログの話になりますが、学校の壁紙が非常に気に入っています。学校訪問した際に、結構、汚れが目立ちました。視察等も増えていますので、環境整備にも手を掛けてほしいと思います。</p> <p>もう一件あります。天然記念物の芝谷地についてです。熊の生息地と隣接していますが、熊対策として電気柵などを設置して、安全に市民の方が集えたりいろんな学習が出来たり、北陽中生が安心して通学できる対策をしていただきたいと思います。木道の整備をして下さるとのことなので、ぜひ安全対策も前向きにご検討いただければと思います。</p>
教育次長	<p>おっしゃる通り、あの場所は熊の目撃情報が多いところです。今年、熊対策として「熊にげる」という忌避剤を購入して使っていますが、偶然かもしれませんが、使用後に熊の目撃が減っています。とはいえ、芝谷地に設置している動物を監視するカメラでは熊が写っています。日中の目撃は減っていますが、夜になると来ているということがわかっています。そのため芝谷地の奥の一部を開放することが出来なかった訳ですが、状況を見ながら対応をしています。電気柵については、エリアが広いこと、国道を挟んで向こう側から熊が来ていることから、人や車が通る国道の脇に電気柵を設置するのは、難しいと考えます。状況を見ながら対策を講じていきたいと思っています。</p>
委員	<p>電気柵がいいとは思っていませんが、おおだて型の熊よげができるのであればいい宣伝にもなるかと思っています。効果、検証をいただきながら前向きに一生懸命されていると思いますので、これからもよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>国際、国内交流事業について伺います。今年度はコロナ禍で中止になった訳ですが、来年度は開催出来ればと願っているところです。視野が広がる体験というのが、個人ではなかなかできないため、市で支えてくれることは大事だと思います。できるだけたくさん子どもたちに機会を与えてあげたいと思いますので、幅広く参加できるように募集の方法など工夫していただければと思います。</p>
学校教育課長	<p>ご助言ありがとうございます。予算の関係もありますが、拡大できるところはやっていきたいと思っています。</p>
委員	<p>作文審査ということですが、選び方を少し工夫してほしいと思いますが難しいですね。</p>
教育次長	<p>審査員の一人として作文を読みました。一人一人、いろんな関心がありますが、この事業に沿ったことに関心があるような内容ですと評価も良くなると思います。</p>
委員	<p>ニュージーランドやタイ王国の交流事業は両方に参加出来たりするのですか。</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>まだ、実現していないのですけれども、どちらも中学2年生を対象と考えています。どちらにも参加というのは無理ですので、住み分けを考えたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>感謝です。教育は人によるところが大きいと、私はかねがね思っています。52名の教育支援員の方々を長年、予算で支えて下さっていることに、敬意を表したいと思います。この方々のおかげで、学校がどれだけ落ち着いているのかということ、その前の状態も見させていただいていますので、本当にありがたいと思います。また、少年相談センターの相談員の方も2名体制で来年度もやっていただけるということもありがたいことだと思っています。是非、人に関わる予算のところは、逆にシビアに要求していただきたいと思います。重ね重ね感謝申し上げたいと思います。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>先ほどの山田委員の学校の壁についてですが、この後の総合教育会議で説明の予定でしたので発言をしなかったのですが、ここで説明をさせていただきます。壁紙については、各学校から要望が出ているのが実情です。大館市はゼロカーボンシティ宣言を行い、これに関連して、学校施設の脱炭素化という部分で、校舎内の壁の木質化を計画しています。それによって、長寿命化改修とも関連させ、内装のリニューアルという部分とリンクさせ、内装木質化いわゆる腰高の部分まで木質化をして、その上の壁紙をきれいにしていくということを年次計画で進めて行く予定としています。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。壁にこだわる訳ではありませんので、あくまでも教育環境という面からお考えいただきたいという意味ですので、ご理解いただきたいと思います。前向きなご検討ありがとうございます。</p>
<p>教育長</p>	<p>では、「協議第16号令和4年度当初歳出予算要求の概要について」は承認とさせていただきます。 次にその他に入ります。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>(「教育委員会の10大ニュースについて」の取り扱いについて説明) (「来月の開催日程」について)</p>
<p>教育長</p>	<p>委員の皆様から何かございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>10大ニュースの7位、教育ローンについて、申請は何件ありましたか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>現在、34件になります。金額は120万円前後だったと思います。当初100件600万円の予算を取りました。1人当たり6万円です。100件の申請があるだろうと思ったのですが、実際のところは、借入額は予算根拠額の2分の1程度でございます。申請期間もまだありますが、100件には届</p>

<p>山田委員</p>	<p>かないと考えています。</p> <p>せっかくの機会ですので。先日、授業を拝見させていただいた感想を述べましたが、少し感じたことがあります。「響学」ということで進めて下さっているわけですが、表向き、誤解されるケースもあるのかと思っていました。というのは、あまりにも、子どもたちが響き合っているのです。例えば返事をするときであったり、体の向きであったりが、子どもたちが一体感を持って実践していることが、ある意味危険というか、もろさというのを感じたことがあったのです。同調圧力がかかってないかと感じたことがあるのです。ただ、これを打ち破ってくださったのが、中嶋先生の国語の授業だったのです。その他にも、私は11大ニュースではないか思うのですが、大館のマイスターの授業を全部見させていただきました。その中で感じたことは、この子たちは、響き合うものを持っているのです。つまり「個」があるのです。「個」が何もないと同調圧力がかかってしましますが、そうではなくて、大館の子どもたちは「個」が鍛えられているのです。いろんな学習の中で「個」が鍛えられているというのが、大館の教育のすごさかなと思ったのです。昔からの本ですが「自由からの逃走」という本を持ってきました。フロムという社会心理学者が書いた本です。ファシズムの原因が何かというと、自由である人たちが自由に対する圧力に負けてしまって、自由であるからこそ、しっかりしなければならないのに、しっかりできなくなって一つの方向に行ってしまった。それでファシズムが起こった。ということが書かれた本です。この本を読んでいたので、大館の子どもたちを見た時に怖かったのです。ところが、大館の子どもたちは、はっきりと「個」がある、自分で考えている、というのが感じられたので、このまま、しっかりと教育を続ければこのような圧力から必ず逃れられて(自由であることの重圧に負けず)逆に、そうではないのだとメッセージ(自分で自由に考えられることのすばらしさ)を発信できる子たちが多くなっていくような気がしました。大館の子たちは、とことん考え抜く、人のことも考えながら発言するというのを、今回、授業を見させていただいて感じたところでありました。それを支えて下さっているのが教育委員会の皆さんで環境整備やら、人材の問題やら難儀をかけています。感謝申し上げたいと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>最近感じるのは、「同じです」「違います」だけでなく、「同じだけど少し違います」「同じけどもう少し深く説明します」というのが出てきています。「個」が育ってきているのだと感じられるところですね。</p>
<p>委員</p>	<p>昨日、文化会館でオーケストラピットを作るのに人手が足りなくて、高校生を頼んで作業を手伝ってもらったのです。黙々と作業をするのかと思いきや、いかに効率よく作業ができるかを考えて作業しているのです。自分の高校生の時はどうだったか考えると、言われるまま、同調圧力に屈して作業していたと思うのです。商工会議所やJC(青年会議所)の若手の方も手伝いに来ていて、高校生が自分たちの指示に従うのではなく、自分たちで考えて</p>

	<p>作業をしているのを見て感心していました。山田委員の話を伺って、大館教育で育った子がこのようになるのだなと見たような気になりました。</p>
委員	<p>この前、木育でウッドデザイン賞をもらったと新聞で拝見しました。あれは、どのようなものなのでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>林政課が申請したものです。大館市がウッドスタート宣言をやったことと、ウッドチェンジの活動していることが評価され受賞したものと思います。大館市で木育ひろばや木育に関する活動、木に関わるウッドチェンジなどいろんな事業を複合的にやっているということが評価されたものと思います。</p>
教育長	<p>教育が教育単独でやるという時代ではなくて、今の話で行けば、林政課という全く異なる部署との連携でやっていくという時代に入ってきていると思います。成熟の時代に入ってきたと思います。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
	<p>会議終了時刻 午後2時55分</p>